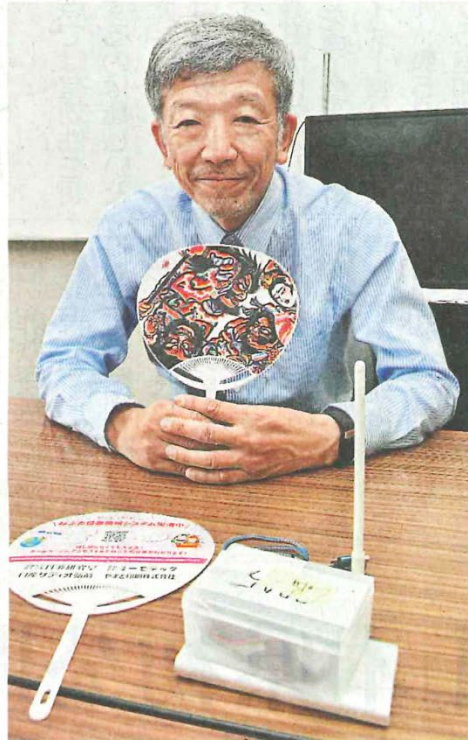


# ねぶた今どこ？ 随時発信 弘大が実証試験

弘前大学は、弘前ねぶたまつりの会期中、運行中のねぶたの位置をインターネット上でリアルタイムに発信する実証試験を行う。30の運行団体に自作の小型センサーを預けて位置を把握し、専用のウェブページで地図上にしるしを表示する。

弘前大学大学院理工学研究科の丹波澄雄准教授(63)の研究室が取り組んでおり、今回で3回目。徐々にセンサーを付ける台数を増やして実証を進めている。

今回は研究室の大学院生、学部生5人が中心となり、接続システムの



運行中のねぶたの位置をリアルタイムで発信する仕組みの実証に取り組む弘大の丹波准教授。手前の箱が各運行団体に預けるセンサー



ウェブページ  
QRコード

構築からウェブページの制作、運用まで手がける。センサーはバッテリーを含めても両手に収まるほどの大きさで、重さも300g程度。大学が独自に設置している基地局を活用するため通信コストはゼロ。

丹波准教授は「観光という点から考えると、時間がないとか疲れると構えからウェブページの制作、運用まで手がける。センサーはバッテリーを含めても両手に収まるほどの大きさで、重さも300g程度。大学が独自に設置している基地局を活用するため通信コストはゼロ。」

ウェブページのURLは<https://neputa.t-lab.st.hirosaki-u.ac.jp/>

(伊藤はなみ)

※この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。

東奥日報社に無断で転載することを禁止します。

[問合せ先]

弘前大学理工学研究科

E-mail:r\_koho@hirosaki-u.ac.jp